

1 卒業に必要な単位数

合計 124 単位

⇒『履修のてびき』P.10

⇒『履修のてびき』
P. H-7~11

分野・区分			必要単位数			
全学共通科目	外国語科目	必修外国語科目 1 カ国語 or 2 カ国語	第1 外国語 8 単位	8 単位	合計 24 単位	
			or	or		
		第1 外国語 4 単位	8 単位			
		第2 外国語 4 単位				
	選択外国語科目					
	広域科目	①思想と文化		2 単位以上		
		②歴史と社会		2 単位以上		
		③健康とスポーツ		2 単位以上		
④自然と生活						
⑤データサイエンスと数理						
⑥キャリア形成科目		4 単位以上				
⑦共通特殊講義						
学科専攻科目	(A) 基礎科目	(A-1) 基礎科目	6 単位			
		(A-2) 基礎選択科目	8 単位			
	(B) 専門科目	(B-1) 専門実践演習科目	所属コースの科目	4 単位		
		(B-2) コース専門基幹科目	所属コースの科目	10 単位		
		(B-3) コース専門選択科目	所属コースの科目	36 単位		
	(C) 選択科目	(C-1) A・B 区分の余剰単位、全学共通科目[外国語科目・広域科目]の余剰単位、全学共通科目[オープン科目]		28 単位		
		(C-2)				
(D) 演習科目			8 単位			

① 必修外国語科目 8 単位必修

【1 カ国語選択者】 第1 外国語のみを“1 年～2 年次にかけて”履修。

⇒『履修のてびき』P.42-45

学年	春学期	秋学期
1 年次	** 語 I a (1 単位)	** 語 II a (1 単位)
	** 語 I b (1 単位)	** 語 II b (1 単位)
2 年次	** 語 III a (1 単位)	** 語 IV a (1 単位)
	** 語 III b (1 単位)	** 語 IV b (1 単位)

☆「必修」
単位を絶対に修得しないと卒業できない科目のこと。
単位が修得できなかった場合は「再履修」。

【2 カ国語選択者】 第1 外国語と第2 外国語を“1 年次に”履修。

(第1 外国語、第2 外国語) 各4 単位

学年	春学期	秋学期
1 年次	▲▲ 語 I a (1 単位)	▲▲ 語 II a (1 単位)
	▲▲ 語 I b (1 単位)	▲▲ 語 II b (1 単位)
	●● 語 I a (1 単位)	●● 語 II a (1 単位)
	●● 語 I b (1 単位)	●● 語 II b (1 単位)

② 選択外国語科目

修得単位は、広域科目の単位として振り替えることができる。

③ 広域科目

① 思想と文化、②歴史と社会、③健康とスポーツ
それぞれの分野から2単位ずつ修得。

⑥キャリア形成科目
4単位修得。

この条件を満たして、外国語科目と合わせて24単位以上になるように適宜履修。

※③健康とスポーツ

■「スポーツ方法学」「レクリエーション方法学」は、科目名の後ろの()に種目名が入る。()内の種目が異なれば、別科目とみなされる。

■学期に1科目しか履修できない。

※24単位を超えてしまった場合

■全学共通科目〔オープン科目〕の修得単位とあわせて、(C)選択科目に振り替えられる。(最大8単位まで)

⇒『履修のてびき』P.46-49

⇒『年次配当表・時間割表』

P.15-16、P.57-58

④ (A) 基礎科目

① (A-1) 基礎科目

6単位修得。

学年	春学期	秋学期
1年次	基礎演習Ⅰ 人間関係の理論と実践	基礎演習Ⅱ

※「基礎演習Ⅰ」「人間関係の理論と実践」は大学が指定するクラスで履修すること。

※「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」は必修科目。

※「人間関係の理論と実践」は必履修科目。

⇒『履修のてびき』P. H-7

⇒『年次配当表・時間割表』

P.57-58、P.151・163

② (A-2) 基礎選択科目

8単位修得。余剰の単位は、(C)選択科目に振り替えられる。

⑤ (B) 専門科目 (コースは1年次秋学期に選択し、2年次より所属します。)

① (B-1) 専門実践演習科目

所属コースの科目から4単位修得(1学期1科目2単位まで)。必履修科目。
所属コース以外の科目は履修不可。

② (B-2) コース専門基幹科目

所属コースの科目から10単位修得。

余剰の単位は、(C)選択科目に振り替えられる。

※所属コース以外の科目も履修可能であるが、これらの科目は全て(C)選択科目の単位となる。

③ (B-3) コース専門選択科目

所属コースの科目から36単位修得。

余剰の単位は、(C)選択科目に振り替えられる。

※所属コース以外の科目も履修可能であるが、これらの科目は全て(C)選択科目の単位となる。

⑥ (C) 選択科目

28単位修得。

① (C-1)

(A) 基礎科目の余剰の単位、(B)専門科目の余剰の単位、全学共通科目〔外国語科目・広域科目〕の余剰の単位、および本学科に配当されていない全学共通科目〔オープン科目〕の単位。ただし、全学共通科目の単位は8単位までを上限とする。

② (C-2)

配当表に定める科目。

⇒『履修のてびき』P.46-49

⇒『年次配当表・時間割表』

P.16・57

☆「全学共通科目〔オープン科目〕」は、他学部が開放している科目。オープン科目「グローバル科目」は、すべて英語による授業。

7 (D) 演習科目 (ゼミナール科目)

8 単位修得。

学年	春学期	秋学期
2 年次	—	—
3 年次	専門演習 I	専門演習 II
4 年次	卒業研究	

※「専門演習 I」「専門演習 II」は 2 単位科目であり、必履修科目。

※「卒業研究」は通年、4 単位科目であり、必修科目。

① 専門演習 I

2 年次の秋学期に別途募集。詳細はKVCでお知らせします。

② 専門演習 II

専門演習 I に引き続き、同じゼミで履修。

③ 卒業研究

専門演習 II に引き続き、同じゼミで履修。必ず履修し単位修得が必要。

⇒『履修のてびき』P. H-10

2 コース選択について

『履修のてびき』P. H-8~9 を確認しておくこと。

☆「コース選択」

1 年次秋学期に募集します。

3 履修登録について

1 科目の選択について

毎学期、卒業に必要な科目を優先して選択する。

『履修のてびき』『年次配当表・時間割表』『授業計画 (シラバス)』『KVC の掲示』を確認すること。

▼予備登録・履修登録について

<https://startup.osaka-ue.ac.jp/230/>

2 履修できる科目について

- ・『年次配当表・時間割表』の配当年次に適合する学年の科目が履修可能。
- ・同じ科目は重複して履修できない。
- ・大学に指定された科目は必ず履修。
- ・先修条件を満たした科目に気をつける。

3 履修できる単位数について

以下に定められた単位数以内で科目を選択する。

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
単位数	22	22	24	24	24	24	24	24	188

⇒『履修のてびき』P.13-17

☆「先修条件」

前提となる科目を修得していないと履修できないこと。ハイレベルな内容を取り扱う科目に多い。

4 予備登録について

受講者が多くなる全学共通科目 (健康とスポーツ科目など)、コンピュータ実習室を利用する学科専攻科目は、希望者全員を受け入れることが困難。そのため事前に希望を登録し受講者数を調整することを**予備登録**という。質問があれば窓口へ。

⇒別紙

『2025 年度春学期
予備登録について』

5 履修登録・予備登録の方法について

インターネットに接続できる環境があれば学外からでも可能。各種日程変更等の可能性もあるので、必ず最新情報を以下より確認してください。

<https://startup.osaka-ue.ac.jp/230/>

※学外からのアクセス時は「多要素認証」が必要のため、KVC掲載のマニュアル参照。

☆「質問がある場合」

電話・メールでの質問には対応不可。質問があれば教務部窓口へ。

⑥ シラバスについて

授業の内容や評価の方法、受講に際する注意点などが閲覧できる。受講する科目のシラバスは必読のこと。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/syllabus/>

4 授業を受けるに際して

① 授業時間

1 時限 (1 コマ) は 90 分

時限	時間帯
1 時限	9:00~10:30
2 時限	10:45~12:15
3 時限	13:00~14:30
4 時限	14:45~16:15

時限	時間帯
5 時限	16:30~18:00
6 時限	18:10~19:40
7 時限	19:50~21:20

※定期試験期間中の時間は上記とは異なるので、注意が必要。

② 出席情報

教室に入室したら、必ず出席情報収集システムのカード読取機に学生証を読み取らせること。

③ 休講・補講

やむを得ない都合により、授業が休講になる場合がある。
KVC を毎日確認すること。また、補講が行われることもある。
KVC <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

5 試験・レポートについて

『履修のてびき』 P.23~27 を熟読しておくこと。

⇒『履修のてびき』 P.18-22

☆電車が遅延したら
遅延証明書を入手の上、担当教員に直接相談してください。教務部に欠席や遅刻を報告する必要はありません。

☆「学生証を忘れたら」
出席をとる授業の場合、担当の先生に申し出てください。教務部に届け出る必要はありません。

☆出席情報
学生証忘れや、誤った教室で読取操作を行った場合でも、出席情報の修正は一切行いません。

☆「KVC」
大学生生活に必要な情報を個人ごとに参照できるサイト。履修情報などの情報を提供しています。

<春学期の時間割の考え方> 自分で考えて登録する科目は何単位分？

●春学期に時間割に入れることができる科目は次の【A】【B】の2種類があります。

【A】 大学側ですでに登録している科目

【B】 自分で考えて登録する科目

●【A】と【B】の合計単位数は**最大で22単位**です。(※2年次以降は半期24単位)です。

自分が外国語を何カ国語選択しているかで、【A】と【B】の合計数はそれぞれ違います。下記の表で、自分で登録する最大の単位数を確認し、科目を考える参考にして下さい。

【A】 大学側ですでに登録している科目			1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
全学共通科目 [必修外国語科目]	第1外国語 Ia、Ib	1単位×2科目	<合計> 6単位分 大学が登録済み (注)第2外国語は登録なし	<合計> 8単位分 大学が登録済み
	(注)第2外国語 Ia、Ib	1単位×2科目		
(A-1)基礎科目	基礎演習Ⅰ 人間関係の理論と実践	2単位×2科目		
【B】 自分で考えて登録する科目			1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
配当年次が「1」の科目から自分で選択し登録する。 例えば・・・*全学共通科目[広域科目]の①~③、および⑥の科目から選択 * (A-2)基礎選択科目の区分から選択 など			最大で合計 16単位分まで 自分で登録可能	最大で合計 14単位分まで 自分で登録可能